

# 日本で暮らす ~災害に備えて~

参加  
無料

日時

2024年 **6月16日** 日

第1部 13:00~15:00 基調講演と  
パネルディスカッション  
第2部 15:30~17:00 多文化交流会

会場 **大阪国際交流センター 2Fさくら**

定員 第1部 **200名**、第2部 **60名** (先着順)



申込みは  
こちらから



## ゲスト **ダニエル・カール氏**

1960年生。アメリカ カリフォルニア州出身。消防士の父をもつ。大学では国際文化比較を専攻。高校と大学で二度関西地区に留学経験がある。大学卒業後、文部省英語指導主事助手として山形県に赴任。その後テレビタレントとしても活躍。

東日本大震災の際は外国人に情報を発信し続け、孤立状態の地域や仮設住宅に物資を運ぶ支援を行った。現在は、テレビラジオのほか、国際交流及び防災などにかかわる講演活動を中心に活動している。

基調講演に山形弁研究家であり、事業家、タレントとしても幅広くご活躍中のアメリカ人ダニエル・カール氏をお迎えし、東日本大震災で長期にわたる支援活動をされたご自身のご経験をお話しいただきます。

パネルディスカッションでは、外国人住民を加え、日本で暮らすなかでの災害への備えについて母国との違いやその重要性について議論します。また、外国人住民を交えて小グループで意見交換を行い、日本人住民とともに何ができるかを話し合います。

同じ“まち”に暮らす住民として、外国人と日本人が、お互いに顔の見える存在となり、ともに地域社会の一員として活躍できる多文化共生の大阪をつくっていきましょう！



申込・  
問合せ



公益財団法人 **大阪国際交流センター**

TEL 06-6773-8989

FAX 06-6773-8421

URL <https://www.ih-osaka.or.jp>

アクセスマップ



主催 **公益財団法人大阪国際交流センター**

協力 **社会福祉法人大阪市社会福祉協議会**



# 日本で暮らす ～災害に備えて～



## コーディネーター

### (一財)ダイバーシティ研究所代表 田村 太郎氏

兵庫県生まれ。阪神大震災で被災した外国人への支援を機に「多文化共生センター」を設立。2007年から「ダイバーシティ研究所」代表として、人の多様性に配慮のある地域や組織づくりを推進している。東日本大震災や熊本地震、2024年能登半島地震でも被災者支援に携わる。復興庁・復興推進参与、大阪大学大学院と日本女子大で非常勤講師。



## パネリスト

### セイハン・デニズ氏（トルコ出身）

トルコ、マラティア県出身。イスタンブールで製菓職人をしていたが、国際結婚で2003年来日。トルコ国内のNGOで働く弟が2023年のトルコ・シリア地震の被災各県で復興支援活動に携わっていることから、日本のNGO「CODE海外災害援助市民センター」の支援活動とつないだ。



### ジャップティ・ビク・ゴック氏（ベトナム出身）

日越支援会と西成労働福祉センターに勤務。

6年前に実習生として来日し、2024年にNPO法人日越支援会を立ち上げ、能登の被災者支援（炊き出し）にも参加。

ベトナム人の一員として日越の関係をさらに深め、在日外国人と地域の人々との架け橋になりたいと日々活動。



### アディカリ・ビカシュ氏（ネパール出身）

8年前に日本に移住し、現在は大阪在住。日本文化や人々に深い愛情を抱いており、仕事のかたわら社会活動にも積極的に参加。

海外在住ネパール人協会(NRNA)日本支部のメンバーとして、献血活動やネパール語の通訳・翻訳、国際交流会への参加など、様々な活動に携わる。地域社会に貢献し、人々との繋がりを深めることに喜びを感じ、これからも、日本での活動を通じてより良い社会を築き、多くの人々に影響を与えることをめざしている。

